

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療学科】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
運動器系理学療法学実習			必修	1	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
関口 賢人 他		D306	y-sekiguchi		月曜日 16:00～17:00	
授業の目的・概要	臨床において多様な運動器疾患に対して各疾患に合わせた適切な理学療法を実践する能力が求められる。運動器系理学療法学実習は、各運動器疾患に対して実際の臨床現場を想定した適切な評価、治療方法を実践する能力を身に付けることを目的とする。授業は対象疾患に関する講義と実技を合わせて行う。					
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学习)		☒ 講義 ☐ 実習 ☒ 実技	☒ PBL ☐ グループワーク ☐ その他（	☐ 反転授業 ☐ プレゼンテーション ☐ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク	
学習上の助言	この授業では、解剖学、生理学、運動学で学んだ基礎医学分野の知識が必要となるので、復習しておくことが望ましい。					
教科書	Crosslink 理学療法学テキスト 運動器障害理学療法学 / 編：加藤浩 / メジカルビュー社 (必要に応じてプリントを配布する)					
参考書	整形外科理学療法の理論と技術/編：山崎勉/メジカルビュー社					
外部教材	特になし。					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	運動器疾患に対する理学療法評価、治療方法について説明できる。				PT (1)、(5)、(6)	
②	運動器疾患に対する理学療法評価、治療方法を実践することができる。				PT (1)、(5)、(6)	
③						
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業の方法		学習課題・学習時間（時間）	
1	運動器系理学療法総論について学習する。	[担当] 関口	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習で学んだ知識や技術をまとめる。	1	
2	変形性股関節症の理学療法（評価法・治療法）について臨床現場を想定して学習する。	[担当] 粕山	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習の変形性股関節症の内容をまとめる。	1	
3	変形性膝関節症の理学療法について臨床現場を想定して学習する。	[担当] 粕山	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習の変形性膝関節症の内容をまとめる。	1	
4	脱臼、靱帯損傷①（肩関節脱臼、前十字靱帯損傷等）の理学療法について臨床現場を想定して学習する。	[担当] 粕山	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習の脱臼、靱帯損傷①の内容をまとめる。	1	
5	脱臼、靱帯損傷②（足関節靱帯損傷等）について理学療法について臨床現場を想定して学習する。	[担当] 粕山	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習の脱臼、靱帯損傷②の内容をまとめる。	1	
6	肩関節周囲炎、腱板損傷の理学療法について臨床現場を想定して学習する。	[担当] 粕山	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習の肩関節周囲炎の内容をまとめる。	1	
7	関節リウマチの理学療法について臨床現場を想定して学習する。	[担当] 粕山	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習の関節リウマチの内容をまとめる。	1	
8	大腿骨頸部骨折等の理学療法について臨床現場を想定して学習する。	[担当] 関口	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習の大腿骨頸部骨折の内容をまとめる。	1	
9	橈骨遠位端骨折等の理学療法について臨床現場を想定して学習する。	[担当] 関口	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習の橈骨遠位端骨折の内容をまとめる。	1	
10	腰痛症の理学療法について臨床現場を想定して学習する。	[担当] 関口	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習の腰痛症の内容をまとめる。	1	
11	脊髄損傷（頸髄）の理学療法について臨床現場を想定して学習する。について学習する。	[担当] 関口	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習の脊髄損傷（頸髄）の内容をまとめる。	1	

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

12	脊椎圧迫骨折の理学療法について臨床現場を想定して学習する。	[担当] 関口	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習の脊椎圧迫骨折の内容をまとめる。	1
13	スポーツ外傷の理学療法について臨床現場を想定して学習する。	[担当] 源	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習のスポーツ外傷の内容をまとめる。	1
14	スポーツ障害の理学療法について臨床現場を想定して学習する。	[担当] 源	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習のスポーツの内容をまとめる。	1
15	側弯症、骨形成不全の理学療法について臨床現場を想定して学習する。	[担当] 関口	講義・実技	運動器系理学療法評価学演習の側弯症、骨形成不全の内容をまとめる。	1
試					

達成度評価							
総合評価割合（％）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100					100
総合力指標	知識・技術力	80					80
	思考・推論・創造する力	20					20
	協調性・リーダーシップ						
	発表・表現伝達する力						
	コミュニケーション力						
	取組みの姿勢・意欲						
	問題を発見・解決する力						
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標		評価の実施方法と注意点				
試験	①	✓	各運動器疾患に対する理学療法評価、治療方法について筆記試験（100％）を行う。			試験結果に関する講評と解説を行う。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						

【2023 年度/専門科目領域/専門科目群/リハビリテーション学科 理学療法学コース/理学療法学科】

備 考	
他 担 当 教 員	粕山 達也、源 裕介
教員の実務経験	運動器系理学療法（徒手理学療法）を中心に、理学療法士として病院、整形外科診療所、スポーツ現場での実務経験あり。
実践的授業の内容	運動器疾患に対する臨床場面を想定し、各運動器疾患に対して実際の臨床現場を想定した適切な評価、治療方法について講義、実技を行う。
そ の 他	＊実技を実施する際は、動きやすい服装で参加すること。 課題のフィードバックは、課題の解説にて返却する。意見交換については、原則として授業時間内にメールや Teams でも随時対応を行う。 今後の感染症の状況など、社会情勢に応じて再度シラバスの変更が生じる可能性がある。